

82 フカに助けられた男

八重山で、ある人が、八重山は無人島がたくさんあるもんですからね。この無人島に畑があるわけさ。それを自分の島からサバニで渡ってね、こういうふうにかう渡って。畑耕してきて。

帰りには暴風雨だつてね。あれだつて、船が沈んでしまつて。そして上にあがつて、島の。上に上がつてね。凍えて寒いとは、その頃は何なんでしょうかねえ。子どももいたという。端上がつてからよ、端上がつてこつち、潮が引く時には小さい貝類はね、その貝類を取って食べて。そうやって今まで暮らしておつたそうですね。それ、八十歳になるよ、今。

八十歳になつてからよ、その時に、この浜でね、浜に。魚がね、キラキラと泳いでくる。魚が。それ取ろうと思うて。フカだつて、フカ。フカがきて、後ろのほう回つてね、股のほうに入つて。これ、雌でね。フカというかね、どこ行くかと。元の島に行ったね。浜

にフカは引つ掛けて。それでこの人、置いてね、置いたらフカは帰つて。

字糸満 上原牛蔵

